

在宅サポート
センター生田

開設 5 周年を迎えました



ひびき通信

平成 23 年
3 月 版

在宅サポートセンター生田は、この三月一日で開設五周年を迎えることができました。これまで当センターをご利用いただきましたご利用者様、ご家族様をはじめ、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターのみなさま、地域の方々に改めて御礼申し上げます。

ご利用者様お一人おひとりの

「生き活き」生活を応援いたします

在宅サポートセンター生田が誕生したのは二〇〇六年三月一日。以来、五年間にわたりデイサービス響、グループホーム響、居宅介護支援事業所響に加え、介護保険外のサービスでもある宅老所「ほっと生田」の四つのサービスを提供してまいりました。

開設以来、変わらず目指してきたものが、「生活」を「生き活き」という視点です。高齢になって思うように身体が動かなくなってきた方や、脳卒中などの病気を患った方など、様々な障害をもった方にとって、「食べる」「飲む」「眠る」「排泄する」といった生活行為

歌って、笑って、元気になる、在宅サポートセンター生田 呼吸と表状筋を組み合わせた独自のメソッドを提唱し、田の「いきいき健康講座」が三月十三日（日）に当センターで開催されます。講師は、「はるはな」として腹式座です。介護職の方、レク担当の方はぜひご参加ください。

歌って笑って「元気になる講座」
レク担当見・三月十三日に開催



グループホーム響

艶やかな七段飾り登場

春らしい暖かい日が増えました。グループホーム響のフロアは、七段飾りのひな人形にすっかり春の気分です。

なるほど、なっとくの技

下山名月さん
基本の「ほ」講座

自立支援の理論と技術を学ぶ

介護職の方
や看護師など
二〇名の



↑ 下山さんから指導を受ける受講者のみなさん。

介護アドバイザーの下山名月さんの介護技術講座がこのほど当センターにて開催されました。今回の講座には、

「介助法を学びました。参加された方からは、「目から、うるこでした」「生理的な動きと意欲を引き出すことの大切さがわかった」など、さまざまな意見や感想が寄せられました。

すぐに役立つ介護講座

新人、研修担当者にピッタリ

金田由美子センター長による「すぐに役立つ介護講座」が四月十七日（日）に当センターにて開催されます。

講座では「介護の役割」「残った機能を生かす」「認知症を理解する」「不自由さを知ろう」「生理学的動作に基づく介護」など五つの視点から、理論と技術を学びます。受講料は三千元。ホームページをご覧ください。

ひびき通信は、日本ケア創造株式会社が発行する月刊情報紙です。

発行日：2011年3月1日

発行者：岸 忠宏

発行所：日本ケア創造株式会社

住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響

居宅介護支援事業所 響

グループホーム響

宅老所「ほっと生田」